

令和6年度第2回防府市図書館協議会

日時：令和6年10月29日（火） 午後2時～午後3時

場所：防府市役所 1号館3階第1会議室

■出席者

（委員）藤村会長、安光副会長、岡田委員、宮崎委員、杉山委員、
新田委員、山崎委員、吉武委員、有吉委員、津田委員（計10名）
（事務局）江山教育長、岡田教育部次長、松田教育総務課長、
幸田図書館長、御手洗図書館管理室長

■傍聴者 なし

■議事録

○事務局

定刻になりましたので、ただいまから「令和6年度第2回防府市図書館協議会」を開催いたします。

協議会の規則、防府市図書館協議会規則第二条第1項の規定により、会長・副会長については、協議会の委員の皆様の互選となっております。

事務局案として、会長には藤村委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

御異議ないようですので、会長には藤村委員を選出することといたします。続いて副会長の選出に入ります。

こちら事務局案となりますが、副会長に安光委員を推薦したいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

それでは副会長に安光委員を選出することといたします。

それでは本協議会の規則に「会長は会議の議長となる」と定めておりますので、これからの会議進行につきましては、藤村会長に議事進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。

○議長

それでは会議がスムーズに運びますように御協力お願いいたします。今回の会議につきましても、前回までと同様、会議および会議記録につきましては「公開」ということでよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

はい。また、委員名簿、会議の記録につきましても要旨をホームページで公開したいと思います。会議中の発言個人名は公開いたしません。あわせて、委員の名簿も公開することになりますが、発言個人名は公開いたしません。会議および会議記録の公開につきましては、御了解いただけます

でしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。

それでは、会議および会議記録につきましては「公開」ということで進めてまいります。

では、これより議事に入ります。議題・令和6年度の事業実施状況について事務局から御説明をお願いします。

○事務局

本年度の第1回目の協議会で4月に行われておりますが、令和5年度図書館の事業の評価を皆様にしていただいております。図書館ではそれを踏まえて、日々サービスの向上に努めているところです。

本日は令和6年度事業の9月末までの実施状況について、図書館長から御説明をいたします。

一度に図書館長の方から説明をすると大変分かりづらくなるため、大項目の1で1回切り、大項目2・3のところで、また1回切ります。次に4・5でまた再度切りまして、6・7で切らせていただけたらと思います。よろしいでしょうか。

それでは図書館長から説明に入らせていただきます。

○館長

皆様こんにちは。本日はどうぞよろしく願いいたします。

それでは、着席で進めさせていただきます。本日は第2回目の開催ということで、令和6年度前半、すなわち4月から9月までの事業実施状況を報告いたします。

報告内容は特に前半期、新たに取り組みました事項を中心にお話をしたいと思います。

「第2次防府市図書館サービス振興基本計画」に則りまして、令和6年度事業実施状況、まず大項目1-(1)の①の上から二つ目です。前半期図書購入冊数が4,745冊、うち一般書3,242冊、児童書1,464冊、郷土関係の資料26冊。次に、視聴覚資料購入点数前半期は0でございました。これは、年間で計画的に購入を行っているからで、既に10月以降に購入しております。御安心くださいませ。それから電子書籍購入冊数が1,015冊です。

続きまして、(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館という項目になります。

②の二つ目、FMわっしょいの後ですけれども、山口ケーブルビジョン「まちかどNEWS」に出演しまして、6月9日開催の「防府市子ども読書フェスティバル」の宣伝をしました。

次に、商工会議所の会報についてですが、この中で図書館に、ぜひコラムを持ってほしいということで5月より連載を始めております。中身は、商工会議所「幸せます」の内容に近いものとして、ビジネス書、あるいは山口の産業に関連する本や図書館の紹介ということで、いろいろと記事を載せているところがございます。

次は、航空自衛隊防府北基地に、パイロットの卵で航空学生の方たちがおられます。2年間防府に居住するのですけれども、7月8日に航空学生1年生、2年生138名に対しまして、図書館のプレゼンテーションを行いました。図書館とは何か、どうすれば借りられるのか、電子図書館もありますよといった内容のプレゼンテーションでした。その結果、57名が新たにカードを作られたところがございます。

それから④の中で、特に危機管理業務という点についてお話をしたいと思います。上から二つ目、4月17日未明に震度4の地震がございました。児童書が落下したのですけれども、それは数冊のみでございました。

その次は、今、世の中でよく話題に出ている、カスタマーハラスメントについてです。図書館には参考図書窓口があるのですが、ここに長時間にわたって居座ったり、暴言を吐いたりするといった、カスタマーハラスメントが発生しました。弁護士の先生、それから警察に相談いたしまして適切に対処しております。実際に、暴言を吐いて、対応していた司書が恐怖を感じたため警察を呼びました。

それから⑤利用マナー啓発事業ということで、2013年より「マナーアップキャンペーン」を始めておりますが、特に「グッドマナーチャレンジ」では、小学生以下、幼稚園生を対象に来館1回につきスタンプカードにスタンプを1回押します。期間は、夏休みの間7月3日から9月1日を実施しております。実際には、台風で1日休館しましたので、期間をもう1日伸ばしたのですが、この間に5回来たらプレゼントを差し上げるという取り組みをしまして、来館5回を達成した幼児、小学生が139人もいました。プレゼントとして、図書館のオリジナル読書手帳をお渡ししております。

次に(3)図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館ということで、①「わっしょい文庫」でございます。「わっしょい文庫」は常時3,500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回巡回するものです。二つ目の所に記載してあるように、大きい台風が来たのを覚えておいでかと思えますけれども、台風が来て荒天のため、8月29日の午後とそれから8月30日は「わっしょい文庫」を運休いたしました。

②電子図書館運營業務については、電子図書システムの利用実績、9月末現在、10,310冊ということになっています。

(4)は特にありません。

○議長

ただいまの御説明に対して、御意見、御質問ありましたらお願いします。

○委員

今までは載ってなかったのですが、カスタマーハラスメントっていう言葉が載っておりました。暴言を吐かれたり、窓口で騒がれたりしたのではないかと思うのですが、それは度々あることなのですか。これは1回だったのかとかそういうことをちょっとお聞きしたいと思います。

○館長

昨年末ぐらいから、いつも閉館の1時間前に、6時以降とか5時以降とか、お客様が少ない時間に来られる方で、参考図書コーナーの窓口に来館される方がいます。毎回同じような質問をして、本を紹介してくれと言われてしますので、コーナー担当の司書がその都度、対応しておりましたが、30分以上1時間とかいて延々と相手をするようになります。図書館は、女性が多い職場ですので、ちょっと怖いという状況でした。

2月終わり3月あたりから、その頻度が多くなりまして、私が就任した4月には、ただごとではないという感じでございました。穏やかに話をして参考図書コーナーの窓口にいる時もあるのですが、大きな声を出したり暴言を吐いたりというのが目立ち、頻度があまりにも高くなっていたので、弁護士の先生や警察に相談したところ、警察の方が「司書の方が恐怖を感じたり、利用者が暴言を吐いたりということがあった場合は、すぐ通報してください。」というような回答をいただきました。

実際に4月中旬にそういった事例が起きましたので、警察に来ていただきました。それ以降は、ほぼ来館していません。一度ちょっと来た時は、おとなしく15分か30分かで帰っていったようで、以降は来ていません。

○委員

開館時の子どもたちがいる時にこういうことがありますと、恐怖を感じますので、ぜひ、今お聞きした通りの対応を、館長にお願いしたいと思います。

○館長

お客様ももちろんですし、働いている職員にとりましても、不安を取り除くのは重要だと思っておりますので、もちろん私がいましたら私が対応します。

それから時折ですね、皆さんも聞きおよびかもしれませんが、50代から70代ぐらいの利用者で、書庫に本を取りに行く用紙に名前を書きたくない、大騒ぎをする方がおられました。その時にも、ちょっと警察に来ても

らいました。

大したことない話なのですが、サービスに対して、居丈高なお客様も時にはおられるということです。その後は特にありません。

○議長

カスハラについては、各自治体でもいろいろ対応に苦慮されているところがありますと、カスハラ条例とかマニュアルといったものを作成したりするところもあるようですけど、防府市としては、どうですか。

私も現役の頃、いろいろな経験がありますが、図書館に直接文句言ってくださるとその方が対応しやすいのですが、教育委員会に電話したりして困ったりすることもあります。

教育委員会や市役所として何かそういったマニュアルみたいなものがありますでしょうか。

○事務局

市の方で条例とかそういうものはないですけども、接遇マニュアルというようなものがありまして、その中で対応については毅然と対応すべきとかが記載されていますので、それに基づいて対応しているというところがございます。

○館長

ちなみに図書館でも、この度、参考図書コーナーの窓口の対応マニュアルを作りました。30分以上の居座りなどをされると他のお客様にも迷惑ですし、参考図書コーナーには、細やかにマニュアルを作っております。

○委員

私は、実際に見たことがあります。閉館前に大きな声で話されていて、職員との対応が全部周りに聞こえていて、嫌がらせとしか取れないような言動を実際に聞きました。これからも、大変だと思いますが、本当によろしくお願いします。他の人もみんな遠ざかって、もう逃げるようにみんな帰るような状況でした。

○議長

組織的に対応していただくといいですね。

他にございますか。

自衛隊の航空学生にプレゼンテーションしたということも珍しいかと思いますが、これはどういった経緯でこういう形になったのですか。

○館長

実は「テスカトリポカ」という作品で直木賞を受賞された佐藤究先生が、今年の1月22日に来防されました。先生は、航空学生が主人公の本「幽玄F」という本を書かれているため、当時の航空学生の学生教育隊の軍司令が、

先生を講師招聘されて、講話を開かれました。その後に図書館にお連れいただいたのがご縁です。

もともと軍司令が図書館の大ファンで、学生には本を読んでほしいという思いがあるが、学生はゲームの方が良いという感じらしいとお聞きしておりました。

せっかく航空学生の方々が2年も防府に滞在するなら、週末の空いた時間にただ遊ぶのではなく、本を読んでほしいという、軍司令のお言葉もありましたので、司書がお約束を取って、直接基地内に伺い、パワーポイントで説明をさせていただきました。その内容は、軍司令が先生と図書館を御訪問いただいた際に、本の書評を財団の雑誌である「イベントアイ」で書くという話が出ましたので、それをたくさん持って行って学生にも財団の説明をしつつ、図書館の説明をしたという次第です。

○議長

航空学生にも利用していただくといいですね。

他にございますか。はいどうぞ。

○委員

小さいことなのですが、一つ目に、(1)の①のところの点数、先ほども言われていましたが、資料収集業務ということで、電子書籍購入冊数が、もう1,000冊を超えているということでした。500の目標の中で1,000を超えているというのは素晴らしいなと思いますけれども、前から言っているように、小学校とか中学校とかの電子書籍の連携はできないのかということです。IDパスワードを渡してみんなが利用できると良いのにと申し上げたのですが、その時の回答は、小学生向けのものがあまりないというようなことを言われていました。分野というか、内訳みたいなのはどうなっていますか。

○館長

おっしゃる通りでして、子どもの方がよく利用しているとのことで、児童書の割合を多めにしていくように、この間の図書館内会議で決まりました。すみません、冊数までは覚えてないのですが、一般書と児童書の割合の児童書を多くするようにしております。

○委員

調べ学習なんかでできれば小学校との連携とか、せっかくシステムの連携をされているので、いち早く山陽小野田市もやっておられますけれども、交付されるとまた一つの特徴になると思います。システムもどんどん進んでいて、やっていくのもお金がかかるかもしれませんが、よろしく願いいたします。

○議長

あと一つ、よろしいですか。

(3)の移動図書館車のところで、台風の関係で運休したということですが、そういった場合の運休の周知というか、巡回表には、運休する場合がありますというふうなことが書かれているかと思いますが、ステーションの看板がありませんし、どういうふうに周知されているのかなと思って、その点について御説明をお願いします。

○館長

30日につきましては、本館もそれから移動図書館車も運休というのは決まっております、事前に、前日以前にそのステーションに予約をされて取りに来られる方には、「運休します」という事前連絡が全部つきました。その日に予約しないで来られた方は、申し訳ないのですけれども、予約の方には全部連絡がつかしましたのでよかったです。

29日の方は午前中動いております、午後のステーションに連絡がついた方にはお断りを申し上げました。利用者からも、こんな雨だから大変だよねという御心配をしていただきました。

一人だけ連絡がつかない方の利用ステーションが、右田のサンマートでした。多分その人は前日にお問い合わせを頂いた方で、「明日動くのですか。」と聞いてこられたと思うのですが、電話を何回かけても連絡がつかなかったため、公用車を出してその方の分は持って行き、無事に渡せました。

○議長

それは御苦労様ですね。

それでは、他はよろしいですかね。2と3について大項目2と3についてお願いします。

○館長

大項目2番は、地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館ということでございます。(1)の①ですけれども、6月9日に「防府市子ども読書フェスティバル」を行いました。それから、すでに現在は終わっているのですけれども、10月20日「防府図書館まつり」のための準備をしました。

(2)です。ボランティアのための活動ができる図書館ということで、②「図書館ボランティア養成講座」を8月22日に行いました。これは元館長の森川先生に来ていただいて、「日本十進分類法の基礎知識」という内容で行いました。従来、この講座は2月、3月に行っていたのですが、今年度は館内のLED工事の関係がありまして、8月に行いました。そうしたところ、定員が15名に対して、満員でしたけれども中学生が1人、高校生が2人とい

う、将来、図書館で勤務をしたい、図書館に興味があるというような学生の参加がありました。8月の夏休みでしたのでお問い合わせがあったのですが、とてもよかったと思っています。来年以降も、こういった夏休みにやるのもいいかなというふうに考えているところです。

次3番は、(1)-①いろんな図書館行事を行うということで、いっぱいありますが、イベント一つ目は、「防府市子ども読書フェスティバル」で児童作家の山本孝さんに来ていただいて、ワークショップをやりました。子どもを含む28組が参加され、大変に盛り上がりました。

それから「月いちキネマ」です。これは令和2年から毎月1回開催しておりますけれども、8月は子ども向けに行っております。

その次、9月5日「大人のくらし塾」は、「聞いて得する健康作り講座」ということで、防府市の高齢福祉課の方から保健師、管理栄養士に来ていただいて、フレイル予防ということでお話と、それから体操を行いました。大変に盛り上がりました。

続いて②番の二つ目、布絵本「結う」というサークルがありまして、作品の展示をブラウジングコーナーで行いました。6月9日から17日まで。

それから、高齢福祉課の企画は、高齢福祉課の方から9月が認知症月間ということで一緒にコラボしましょうという申し出がありまして、後ほどまた説明しますが、認知症に関連したパネル展示、それから認知症の方の作品をブラウジングコーナーでひと月ほど展示しました。合わせて、図書館としては中央カウンター前で「本を通して認知症を知ろう！」ということで、医学的な見地やルポルタージュ、それから予防のための料理本、脳活といったような本を展示し、たくさんの方に借りていただきました。

○議長

ただいまの御説明について、御意見、御質問がありましたらお願いします。

お手元に「子ども読書フェスティバル」の会報、「子ども読書のまち防府」が配布してあります。何かコメントがありましたらお願いします。

○委員

「子ども読書フェスティバル」は、今年も子どもたちのワークショップの形で開催して、山本孝さんに来ていただきました。準備の段階からスタッフの方や、サークルの方が材料集めなどで関わることで、また一層、何か図書館の活動とこのイベントと一緒にできたかなと思っています。山本孝さんのワークショップも、本当に子どもたちに大盛況でした。今回はお父さんたちがすごく活躍されていたので、今時だなと思ひ、すごくび

つくりしました。この会報に掲載しています。

あと、飛び出すカードを作るスペシャルおはなし会も、図書館とか他のところで子どもの読書活動に関わっている方が参加されているので、これはよかったかなと思います。

最後に「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の表彰の関係を載せています。

それから、これは毎年ですけれども、防府図書館がやっている子ども読書支援についてのところを設けて報告をしております。

○議長

ありがとうございます。

「図書館まつり」でも、古本市の収益がだいぶあったようですが、何か御報告がありましたら。

○委員

皆さんで最後に万歳したのですが、今年は40人50人近く、多くの高校生がトータルで参加していただいたのが幸いしたのか、それとも皆さんのお力が素晴らしかったのか、今までにない20万円を超えた売り上げがありました。

本当に皆さんのお力で、今度はそれを何か図書館のために、利用させていただきたいのですが、アイデアがありましたらお寄せください。今の段階では、本をまた寄贈しようかなと考えています。というのも、ここ最近では書架などの本以外を寄贈することが続いていて、この度も素晴らしい書架ができましたし、ずっと本の寄贈をやっていませんでしたので、今度は設備じゃなくて、本もいいかなと思っています。

皆さんにまた語りたいと思います。皆さんの素晴らしい活躍で、成功したと思います。ありがとうございました。

○議長

ありがとうございます。

他によろしいですか。はいどうぞ。

○委員

すいません、今のお話に関連して質問します。今回の資料が9月末までなので、今年度の図書館まつりについての報告がないのですが、私も図書館まつりで、皆さんとお会いしたりして顔なじみになって、とても楽しかったです。素晴らしい活動だということを今から申し上げようと思うのですが、すけれど。

私がいつも言っているように、高校生を巻き込みましようと言っていたら、令和5年度はちょっと高校生が少なかったと伺っていますけど、今年

はすごく多かったということでした。いずれはまた高校生が、自分たちで考えるアイデアで、何かができることを期待していますということと、さっき「図書館ボランティア養成講座」に高校生と中学生が参加されたということで、何かの種を少しずつ蒔いていっているのかなと思っています。

他の市とか、県は少し動こうとしているようです。県立図書館も県立高校で、山口市立もそのうちやるのかもしれませんが。まだなかなか難しいのですね。ですから、何か少し種を蒔いとけば、芽が出てくるというか。もちろん子どもの読書ということもあれば、中高校生の辺り、特に高校生で、もしかしたら読書が途切れているかもしれない年齢層に対しては、素晴らしいと思っていますので、これからも期待しています。いろんなところに高校生とか中学生が参加してくれればいいなと思っています。でも今日は小学校と中学校の先生しかいらっしやらないので、ぜひ高校生も巻き込んで、さらに進めていただきたいと思います。素晴らしいと思っています。

○議長

はいどうぞ。

○委員

また続いて「図書館まつり」の件なのですが、去年はわっしょい広場が昼からすごく人通りが少なかったのが心配したのですが、今年は、駅前で「福祉まつり」があったり、南北自由通路が開通していたり、家庭の日のイベントがあったりして、人通りが絶えなかったのです。やっぱり回遊性がありました。よその行事と一緒にあったら少し賑わうのではないかと思います。去年は本当に昼からどうしようと思うぐらいに誰も来なかったのです。今年はすごく良くて、私もよかったなと思いました。

○議長

はいどうぞ。

○委員

今、高校生ボランティアのことが話題になっていますが、高校生ボランティアの中に、市内の高校ではなくて、個人で参加されたボランティアがありました。下関の高校に通っているそうですが、防府在住だと言われていました。朝から来られていて、高校生ボランティアの集合時間と違うのでなぜだろうと思って聞いたら、そう言われました。本当に興味のある子、積極的にこういうことに参加している子どもたちがいて、図書館に来てくれるというのがすごく嬉しく思いました。一年生だと聞いたので、来年も来てねと声をかけております。

○議長

はい。高校生が参加すると若い力で、古本を運んだりするのも本当にス

ムーズにいきました。

○委員

ヤング図書コーナーの右手、資料展示の定期的な実施が、すごい私好きでよく見るのですが、昨日の夕方、せなけいこさんが亡くなったと発表された後、図書館に行ったら、早速、せなけいこさんの追悼展示のコーナーが出来ていたので、防府図書館はなんてすごいのだろうと思いました。あれは職員の皆さんがすぐやろうという感じなのですか。

○館長

追悼展示は、気づいたらすぐやります。

○委員

追悼展示が、もう昨日の夕方ですぐにできていたので、防府図書館はなんてすごいのだろうと思いました。またその本を借りて本をどんどん読んでいきたいと思います。ありがとうございます。

○館長

追悼展示の POP がすぐまわってきて、至急となっており、すぐに準備に取り掛かかっておりました。

○議長

続きまして、4と5についてお願いします。

○館長

それでは4番にまいります。4-(1) 地域(郷土)資料ですけれども、①の下です。

郷土紙芝居については、1回目の会議の際に御紹介させていただきましたが、郷土の紙芝居を複製して貸出をしているのですけれども、4月から6月の間に22回の貸出があったと申し上げました。9月末現在、51回です。「和尚なまず」とか防府にちなんだ紙芝居ですが、貸出が伸びております。

(2)です。①の上から2番目です。ブラウジングコーナーでただいま、上山満之進の関連展示を行っています、期間は1か月です。

私の担当でして、半泣きになりながら、展示しましたけれども、あわせて、上山満之進と台湾ということで、満之進の本と満之進が台湾にゆかりがあるものですから、台湾の関係の本も合わせて展示をして、貸出もしています。

続きまして、(3)です。韓国の春川市と姉妹都市ですけれども、資料提供協定が締結されて、今年が20周年ということで特別展示を行っています。

次は5番です。5-(2)①です。山頭火ふるさと館に対しまして、「山頭火を学ぶ会」の講師として司書を派遣しております。

次に②は、財団には、アスピラートとソラールという組織がございます。

上から二つ目、アスピラートでミニチュアライフ展、ミニチュアの展覧会がありました。その連携企画として関連資料展、「田中達也 見立ての世界」というのを図書館の企画展示の所で行いました。それから三つ目に、ソラールとの連携企画として、「感想文のヒント」ということで、同じ本を司書の視点、それからソラール学芸員の視点であわせて展示を行いました。

次に③ですけれども、もともと③はなかったのですが、私が足しました。行政との連携事業として、先ほども御紹介をしましたが、認知症の話、パネル展示や本を紹介したと言ったのですが、これがまさにそうでした。市の高齢福祉課の保健師さんから認知症に関する事で何か連携したいという御提案がありました。先ほど言いましたように、図書館としては、資料を展示しましたけれども、パネル展示、それから作品を飾る、もう一つは、相談として「もの忘れ相談会」をやらせてほしいという市からの要望で、図書館のエントランスの許可を取りまして、9月の19日から21日の3日間開催しました。9月21日が認知症の日ということで、保健師さん等に來てもらって、図書館は机と椅子とホワイトボードを貸しただけですけれども、3日間にわたって相談会を行ったものでございます。

昨日確認したところ、総勢27名の相談があったそうで、今回は知的に興味があって図書館がある3階まで登ってこられるけれども、ちょっと不安だなという方とメインターゲットが合った結果ではないかというところでございます。高齢福祉課とも連携できたのがとても良かったということに加えて、実は全国的にも、日本図書館協会認知症バリアフリー図書館チームというところから、9月の認知症の日、それからアルツハイマー月間の取り組み事例について、図書館で開催されていることがあれば出してくださいと言われておりましたので、どんな取り組みをしたか写真をつけて、高齢福祉課が作ってくださったチラシも中に盛り込みまして、日本図書館協会に事例発表しています。

来年度、掲載されると思いますので、アピールしていきたいと考えております。こういったことを行政との連携でやっていっております。

○議長

御説明、ありがとうございます。ただいまの御説明に対する御質問、御意見ありましたらお願いします。

○委員

「大人のくらし塾」に参加させていただきました。どういう方が集まるのかな、人数が集まるかなと思っておりましたら、席全部埋まっております。男性の方もいらっしゃいました。見回すと、一人も知っている方がおられませんでした。図書館のいろんなボランティアの会等に來られる方

じゃなくて、ほとんどが一般の方だったと思いますので、そこからまた防府図書館に人を呼び込んで、いろんな活動ができたらいいなと思いました。

私は、認知症にならないように頑張ろうと思って参加いたしましたけど、たくさんの方が参加しておられ、体操も皆さん本気でして、すごく楽しいひとときを過ごすことができました。こういう企画は今までなかったものですから、ぜひまた次の新しい企画を考えていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○館長

先ほど言いましたように、9月がそういった月間で、この前の前に説明した、月に1回「月いちキネマ」を開催しておりますけれども、来年の9月は認知症に関する映画にしてみようかなというふうに企画を考えております。

○議長

よろしくをお願いします。

私は「もの忘れ相談会」をやっているのを見て、本当に今までで初めての企画だなと思っておりました。

他にございますか。はい。

○委員

私は実際に物忘れの者を抱えているのですが、これは私たちが、もし何か困ったなと思うときに、そういう経験された方のお話が聞けるのは、とてもいいことだと思いますので、ぜひ来年度もよろしくをお願いします。

○議長

では、よろしいですか。

4-(3)①春川市との協定締結20周年というところで、韓国との関係は、韓国の政権が変わるたびに、いろいろぶれがありますけれども、こういった民間協力を続けていくというのは大切だと思います。

それと、5-(1)①の学校図書館支援の関係で選書会の図書の貸出については、学校司書の方が図書館に来館して、選書用の本を持っていくということでしょうか。

○事務局

事務局からお答えします。

今年度は学校司書さんが全部で15名おまして、市内の全小中学校に配置されている状態です。図書館にある本の比較的新しいものの中から、学校の図書館にないような本を学校司書の方目で見つけて選びます。

本の内容とか、状況を確認しながら選書会用の本をだいたい120冊、低中学年用に40冊ずつぐらい選び、それを図書館でリストにもらった

り、保管もしてもらったりしています。各学校には、何日かごとに貸出、返却をしていき、回すような形で選書会を行っております。

○議長

小中学校の校長さん、学校司書について何か御意見やお考えがありましたら一言どうぞ。

○委員

毎回大変よくやっていただいていますので、大変ありがたいと思っております。

○委員

学校図書館の本には、やはり限りがありますので、連携とか協力していただけると、子どもたちにとっては、本と親しむ機会ができてとてもいいのかなというふうに思いますので、今後ともよろしくお願いします。

○事務局

すみません。一つ訂正です。先ほどの学校司書が選んだ本を学校に貸出すと言ったのですが、学校司書は小中学校に配置されていますが、選書会を図書館の本でやっているのは主に小学校です。

中学校も学校がやりたいということであれば、学校司書が本を選びに行って、中学校用のものを持って帰るという状況ですので、選書会については全小学校で必ずやっておりますが、中学校は依頼があった学校でやるというふうな形になっております。訂正させていただきます。

○委員

すみません。聞き漏らしたかもしれませんけど、選書するのはどなた、学校司書ですか。

○事務局

はい。学校司書が学校司書の目で見えて、実際、本にあたって、図書館ではその本についてリストを作るというか、選書会用の本として組むようになっております。

○委員

学校司書の方でもいろんな方、初めて学校司書になられる方とか、研修もあるということですが、選書する段階で、図書館の司書の人が変わるということはないのでしょうか。やっぱり子どもの目線というのも大切ですが、図書館の専門家として、そういうコミュニケーションというか、意見も言い合う必要があるかなと思いましたが、いかがでしょうか。

○事務局

今のところは、図書館の職員が入ってという形ではありません。学校司

書が15名おりまして、長い人は、6年も7年も8年も勤務している方ですし、各学校のレベルや子どもたちが喜ぶ本を分かっている学校司書が、主になってやっているという状況です。

○議長

それでは、時間も押してきましたので、6番と7番についてお願いします。

○館長

大項目6-(1)①ですけれども、上から説明をいたします。

「こども図書館員」を2日間、開催をしました。各日9名ずつで、2回行いました。それから、「図書館を使った調べる学習コンクール」は、防府市教育委員会と共催しました。これに先駆けまして、「チャレンジ！調べる学習」を行っております。7月中に3回行いまして、4人、3人、4人、合計11人の小学生が参加してくれました。

それから「読書感想文教室」は、7月27日28日に開催しました。27日が、3・4年生対象で9名、28日が5・6年生対象で10名という参加状況でした。実は応募倍率がすごいことになっておりまして、3・4年生は27名ということで約3倍、5・6年生は19名が応募して、2倍の応募があるような状況で、非常に人気があります。昨年までは、先着順で並んで駄目だったということがございましたので、今年から抽選にしております。

次に、公共施設等での出前講座については、市役所から要請があります。おはなし会の開催依頼でしたので、宮市とか西須賀に行きました。

それから(2)の①の下です。ボランティア主催行事、研修におきまして、図書館の職員、司書がブックトークを行いました。4月25日は「紫式部と平安文学」、9月26日は「江戸のブーム」というテーマで、司書が2人ずつブックトークをしております。

次の大項目7-(1)①の下、図書館が行っている障害者サービス、あるいは電子図書館についてです。図書館にお運びにならない方にもサービスをするということで、社会福祉協議会が偶数月に1回、各地区の民生委員の会長さんを集めて行う定例の民生委員児童委員協議会理事会がありますので、6月の会議で場を設けてもらいまして、サービス対象者に近い方々に、障害者へのサービスや電子図書館についての情報提供を行いました。

(3)①、ボランティアで「翠の会」さんは、市役所の広報等を音声で読み上げてくださって、視覚障害の方々に届けるというボランティア活動を行っております。主たる活動場所が防府市文化福祉会館だったのですが、この度、建物が取り壊しとなる見込みということで、これから図書館の録音室や障害者サービス室等を利用されるようになりました。図書館として

は、場の提供をする予定でございます。

○議長

ただいまの御説明に御意見、御質問ありましたらお願いします。

○委員

私は、おかげさまで「翠の会」にも属しておりますが、協力をしていただきまして、活動場所が図書館になりました。これからは、またそこで活躍できるのではないかと期待しております。ありがとうございます。

○議長

「図書館を使った調べる学習コンクール」のお話がありましたが、明後日、選考委員会があります。またよろしく願いいたします。

他にご意見がありましたら。

○委員

「図書館を使った調べる学習コンクール」ですが、中学校の理科の方で、そちらに該当する作品があれば出していただけないかとお願いはしています。

ただ、昔は、理科の夏休みの作品については、1・2年は全員出すというふうになっていましたけど、夏休みが短くなったり、それから負担が大きいということで、宿題の提出が自由になったり、そうするとどうしても作品数が少なくなっております。それから、他教科で調べるとか、自由研究とかを出すという宿題があまりなくて、理科についてはソラールで科学作品展があったり、県の作品展サイエンス山口があったりということで、割と伝統的に理科の自由研究があるのですが、実は調べ学習は、理科の自由研究に入り辛いというふうなところもあって、理科の自由研究の中から選ぶため、少し狭められている部分もあるかと思っております。ただ、せっかくコンクールがあるので、また何か工夫等をして、各中学校に呼び掛けられればというふうには思っています。

○議長

ありがとうございます。よろしいですか。

はい、何かございましたら。

○委員

今、青少年を取り巻く問題の中で、闇バイトの話が出てきておりますが、これは犯罪ですよ。おそらく防犯とか福祉の方からアプローチをしていないのではないかという気がしております。この問題については、いわゆるもっと小さい頃からの読み聞かせとか、人と人との触れ合いやコミュニケーションの取り方を学ぶことで、子どもたちの心が成長して、犯罪に対してブレーキがかかっていくのではないかなと考えています。

図書館では、点字とか、いろんな障害者に対する準備をされていますけど、もっと子どもたちの心を育てるといった面で、何か図書館にできることがないかと思っています。

また、今、教育の面でも、発達障害など、まだまだ光が当たってない部分があって、未来に向けて人の心が育つとか、あるいは、人の良いところに気がつくとか、そういったところに対しても何か図書館ができることがあるのではないかという気がしています。

○議長

図書館も御検討いただければと思います。

その他何かございましたら。

○事務局

事務局からです。次回の令和6年度第3回の図書館協議会は、来年、令和7年2月頃に開催を予定しており、令和7年度の図書館事業について、図書館から御説明をさせていただく予定になっています。

あと、来年2月以降、図書館サービス振興基本計画の第3次図書館サービス振興基本計画策定協議会を立ち上げて、新たに第3次図書館サービス振興基本計画を作り始める時期がやってまいります。

本来であれば、令和7年4月以降から始まるのですが、市の総合計画と合わせる関係で、少し前倒しになりまして、令和7年2月頃に、サービス振興基本計画協議会を立ち上げて、第1回目の会議ができればと考えております。

その際は、図書館協議会となるべく日時を合わせて、同じタイミングで、まずは一同で集まりたいと考えており、現在、計画中でございます。また詳しいことにつきましては、正式に決まり次第、皆様には御案内差し上げますので、よろしく申し上げます。

○議長

今日は長時間にわたり、いろいろ御協議いただきまして、ありがとうございました。本日は、令和6年度の第2回目の会議でしたが、今年度の事業の途中経過について御説明を受け、御意見等いただきました。

今後も委員の皆様方の御意見をいただきながら、生涯学習の中核施設、町の情報拠点として、図書館事業が充実したものになりますよう、御協力をお願いいたします。

これをもちまして、本日の議題等全て終了ということで、ありがとうございました。